

会報

幸わせ

第212号

発行者
 社会福祉法人
 長野市身体障害者福祉協会
 理事長 小林和夫
 〒380-0904
 長野市大字鶴賀276-10
 (長野市障害者福祉センター内)
 電話 228-3014
 ファクシ 226-6263

新年あいさつ

市長 荻原 健司



新年明けまして
おめでとうござい
ます。
皆様には、健や

かな新年をお迎えのこととお喜び申
し上げます。また、日頃は市政に対
し御理解と御協力を賜り、心から感
謝申し上げます。

昨年は、令和6年能登半島地震を
はじめ、全国各地で豪雨等の自然災害
が発生し、加えて、長期化する物価の
高騰などにより、市民生活や経済活
動が大きく影響を受けた一年でした。

そのような中、本市では、令和元
年東日本台風災害からの復興応援事
業の開催や、合併から20周年を記念
したイベント等を通して、市民の皆
様とともに、これまでの歩みを振り
返りました。

本年は、更なる変革、挑戦に向け
て、様々な施策・事業に取り組んで
まいります。子どもから高齢者ま

で、どの年代でも健康で生き生きと
した生活を送るための各種施策の充
実を図るとともに、子どもの福祉
医療制度の窓口無料化や、「みらい
ハツ！ケン」プロジェクトなどの子
どもの体験や学びを応援する取組の
一層の充実等を進めてまいります。

また、障害福祉関係においては、
本年4月の「長野市手話言語条例」
の制定を目指し取り組むほか、「障
害者差別解消法」に規定された、障
害者に対する「合理的配慮の提供」
について、啓発活動や研修の機会な
どを通じ、障害のある人もない人も、
その人らしさを互いに認め合いなが
ら、共に生きる共生社会の実現に向
けて取り組んでまいります。

今後とも、障害に対する理解を深
め、誰もが安心してこのまちに住み
続けたいと思えるよう、市といたし
ましても積極的な取組を推進してま
いります。

結びに、今年一年の皆様の御多幸
と御健康を心から祈念申し上げ、新
年のごあいさつといたします。

賀正

新年あいさつ

理事長 小林 和夫



新年あけまして
おめでとうござい
ます。皆様には健
やかに新年をお迎

えのこととお慶び申し上げます。

新型コロナウイルス感染症が令和
5年春頃から全国的に落ち着き、減
少の状況が今日まで続いており、そ
のお陰で令和6年度も各事業をス
ムーズに実施することができていま
す。これも、皆様の熱心なご協力の
賜物と感謝申し上げます。

さて最近、コロナ感染症が減少状
況のため各地で人が多く、その多
くの人がマスクを着用していな
いのが今日の状況です。そのためか、
私たちの周辺で、思い掛けない人た
ちのコロナ感染が増えています。更
に今冬は、インフルエンザの早期流
行も報じられています。各感染症が
蔓延時以上に危険な環境にあると感
じています。常に感染予防の厳守が

大切ではないでしょうか。
令和4年4月1日に施行された「障
がいのある人もない人も共に生きる
長野県つくり条例」に規定された「障
害者の合理的配慮の意思表示」の制
度は、「共生社会つくり」のために真
に有効な制度であります。しかし、
この制度は障害者自身が「意思表示」
を発することによって初めて制度の
効果が発生するのであります。

障害者個人を肩代わりして「身障
協」のような組織が「意思表示」を
代弁しても、それは単なる「要請事項」
の申し出に過ぎず、そのことに行政
及び事業所の法的対応の責務を生じ
させるものではありません。障害者
自身が、「声」を発しなければ、この
制度は絵に描いた餅となってしまう
です。日々の暮らしの中で、生活し
難い「社会的障壁」を見出した折には、
「障壁」改善の意思表示を、是非、積
極的に発することを願います。

結びに、皆様のご健康とご多幸を
祈念申し上げ、年頭のご挨拶とい
たします。

丸山勝副理事長、 県理事長表彰受彰

丸山勝副理事長は、多年にわたり障害者福祉の向上に尽力してこられました。

この度、その功績が評価され、県理事長表彰を受けられました。



県理事長表彰を受彰して

副理事長 丸山 勝

昨年11月2日、松本市あがたの森文化会館で開催されました第74回県身体障害者福祉大会において栄誉ある県理事長表彰を受彰いたしました。誠に光栄に存じます。

私は、平成6年3月に脳梗塞を発症し、満30年経過しました。約4ヶ月間リハビリ入院しましたが、それでも右半身の麻痺が後遺症として残りました。私の周りの多くの人たちの励ましに感謝しております。

20年位前に先輩に勧められ、協会に入会いたしました。その後、支部長、監事、理事、そして現在、副理事長を仰せつかり、その任を努めさせていただいております。

協会の現況は、年々、協会員が減少しており、会員の増員が喫緊の課題であります。なかなか名案がありません。

今後、会員の皆様に楽しい、そして喜んでいただける協会になるよう微力ではありますが、尽力してまいる所存であります。

最後に会員の皆様のご健康、ご多幸を心よりご祈念申し上げます。

市長要望の報告

12月18日、長野市役所において荻原健司市長に、今年度の市身体障害者福祉大会において承認された「大会決議」の内容について要望しました。市長からの回答は、次のとおりです。

要望1

障害者一人人の社会的障壁の除去を求める意思表示に対し、行政職員一人ひとりがその意思表示を尊重し、適切に対応できるように、組織全体で法及び条例の理念の着実な定着を図るための職員研修等のさらなる推進を要望します。

回答

障害者差別解消法の施行を受けて作成した職員向けのマニュアル「障害を理由とする差別を解消するための職員対応要領」に基づき職員に対して、差別を解消するための基本的な考え方に関する職員研修を推進する。

第2次長野市障害者基本計画では、障害のある人への「不当な差別的取り扱い」の禁止と「合理的配慮」を推進するため、全職員を対象とした職員研修の実施を掲げている。

要望2

障害者福祉センターの「集會室兼体育室」へ冷房設備の設置を要望します。



回答

令和7年度に、公共施設マネジメント推進課へ公共施設整備事前協議を依頼する。

導入にあたり冷房設備の方式など検討する必要がある。

市の財政事情が厳しいので、予算化できるように繰り返し要望していく。

要望3

障害者に対する災害時の「個別避難計画」作成の進捗状況をお示しいただくとともに、早期の作成完了を要望します。

回答

令和6年度の避難行動要支援者名簿に登録されている約三一、五〇〇人のうち、身体障害者手帳1・2級の方は、約二、九〇〇人となっている。

個別避難計画は、ハザードマップ上で危険な区域(浸水想定3m以上、

土砂災害警戒区域など）にお住まいの方で、福祉サービスを利用していらっしゃる人を優先度が高い方として、地区ごとに作成に取り組んでいる。

令和4年度は、吉田、古里、柳原、長沼、中条の5地区にお住まいの方で、同意を得られた障害者（身体・知的・精神）18名の計画を作成した。令和5年度は、芹田、古牧、三輪、大豆島、若槻、安茂里、小田切、若穂、川中島、豊野の10地区にお住まいの方のうち、同意を得られた障害者（身体・知的・精神）57名の計画を作成した。

令和6年度は、浅川、篠ノ井、信更、戸隠、鬼無里、大岡、信州新町の7地区にお住まいの障害者（身体・知的・精神）一二三人を対象に計画作成を進めている。

令和7年度は、第1、第2、第3、第4、第5、朝陽、芋井、松代、更北、七二会の10地区にお住まいの方を予定している。

引き続き貴協会や、障害者当事者の皆様のご理解ご協力をお願いしたい。



第2回理事会

協会定款に基づき、理事長の職務執行状況を報告するため、11月14日午後2時から障害者福祉センターにおいて、6名中4名の理事と監事2名の出席で開催されました。理事長及び事務局から令和6年度前期の職務の執行状況について報告等がありました。



第2回支部長会

11月7日午後2時から障害者福祉センターにおいて、6支部の支部長の出席で開催されました。今後の事業等について、協議を行いました。

また、支部長会終了後、情報交換会を開き、本部事業の進め方や支部の状況について、情報の交換と共有を行いました。



希望の旅に参加して

柳原支部 岩下 一寛

二〇一九年を最後にコロナの影響もあって一昨年まで身障協の旅行も

ほとんど中止になっており、久々に10月17日の「希望の旅」に参加しました。

早朝6時25分に柳原支所を出発しました。ビッグハット駐車場、おやきファームで参加者が乗車し、長野ICから高速道路を伊那ICで降り、かんでんぱばガーデンに着きました。そこで昼食をとり、各自で工場見学、買い物を行いました。

正午過ぎにかんでんぱばガーデンを出発し、途中、「道の駅木曾ならかわ」で休憩、買い物をし、往路と逆コースで17時頃、柳原支所に到着しました。往復の交通事情もほぼ順調で、だいたい予定通りでした。

天気も良く一日中さわやかで、和気あいあいとした旅で、たいへん楽しめました。来年も「希望の旅」が行われ、多くの会員の皆様が参加されることを願っています。



さわやか合唱交流会を鑑賞して

本部会員 北村 幸雄

10月24日、長野市芸術館で開催された「さわやか合唱交流会」を鑑賞しました。

県シニア大学の卒業生を中心に構成された出演者は、練習を重ねてこられ、すばらしい発表会になりました。

パンフレットにも平均年齢は80歳を超えると書かれており、背中が丸くなったり、杖をついたり、立っていることが困難であっても、人生を楽しむ気力とパワーを十分感じさせました。

今回は、体力の低下もあり、最後まで鑑賞できませんでしたが、友だちが頑張る姿を見ることができ、楽しかったです。

第2回健康教室に参加して

本部会員 石坂 友吉

11月7日、第2回健康教室に参加しました。まず、市保健所の米山寛さんから薬と健康食品の使用方法与食事の摂り方などの講演がありました。

続いて、同じく市保健所の池田あゆ美さんからは手足等を動かす軽体操の指導をしていただきました。他の参加者の体操する姿を見て自分も頑張らねばと思いました。

短い時間の教室ですので、次回は大勢の方の参加をお願いします。



縁側から語りつく

「縁が和リレー」第23回

機能トレーニング教室より

指導員 横矢 直之

教室にて指導している横矢直之です。指導員を始めて5年目です。

針灸マッサージ師、介護予防運動指導員の資格を有しております。

この教室ではご自身の身体と向き合うことを大切にしております。そして楽しく笑顔でトレーニングしていただけるように心がけております。ですので、時に身体を動かすよりも、おしゃべりに花が咲くこともしばしば。それも良いのです。話すことは頭の体操、笑顔になれば免疫力が向上するかもです。

人も動物です。動く物です。動きが無くなればその機能は錆びて衰えていきます。

ご一緒に錆びにくい身体にしてみませんか。まずはお試しで見学してみてください。お問い合わせをお待ちしております。



長野市障害者福祉センターからのご案内

センターでは、各種教室・相談会などを開催しています。その一部を紹介します。

①機能トレーニング教室

- ・日 時 毎週火曜日、9:30～11:30
- ・対象者 身体障害者で運動機能維持を望む方
- ・内 容 柔軟性・基本動作訓練、筋トレ等

②余暇教室

- ・日 時 毎週水曜日または金曜日 10:00～15:00
- ・対象者 身体障害者手帳所持者
- ・内 容 基礎体操、運動、歌の合唱レクリエーション等

③点字教室

- ・日 時 毎週火曜日または木曜日の約1時間
- ・対象者 身体障害者手帳所持者（視覚障害者）
- ・内 容 点字の読み方等

クリスマスの集い 盛大に開催！

12月8日、障害者福祉センターにおいて、「クリスマスの集い」を開催しました。昨年を上回る170名の皆様に参加をいただき、ステージ発表やスタンプラリーなどで、参加者やスタッフの皆様楽しんでいただきました。



ステージ発表「麦っ子広場」



ステージ発表「アンバランちゅ」



スタンプラリー（輪投げ）



スタンプラリー（中身は何かな）

「皆様、準備から運営、片付けまでお疲れ様でした。」

あけましておめでとうございませう。昨年プロ野球日本シリーズは、セントラルリーグ3位から勝ち上がった横浜DeNAベイスターズが、パシフィックリーグ王者の福岡ソフトバンクホークスに対戦成績4勝2敗で、一九九八年以来26年ぶり3度目の日本一に輝いた。3位からの快挙は二〇一〇年の千葉ロッテマリーンズに次いで2度目だそうです。

編集後記

編集委員 丸山 顕

行事予定

◆ニュースポーツ競技会と歌声広場（青年部主催・女性部協力）

- 日 時：2月16日（日）午後1時30分から
- 場 所：障害者福祉センター 2階 体育室
- 内 容：ボッチャ講習会
- 申込み：1/31（金）までに事務局へ